

令和5年7月20日

会 員 各 位

(公社) 高知県理学療法士協会
会 長 大畑 剛
第37回高知県理学療法学会
学 会 長 竹林 秀晃
準備委員長 奥田 教宏

第37回 高知県理学療法学会のご案内

拝啓

会員の皆様におかれましては、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび第37回高知県理学療法学会を開催する運びとなりました。年度末のご多用の時期ではございますが、多くの会員の皆様の演題発表とご参加を戴きますようご案内申し上げます。

敬具

【 趣 意 】

新型コロナウイルス感染症は、この5月より「5類感染症」に移行されました。この3年間、世の中全体でこの感染症に対して模索しながら、様々な取り組みを行ってきました。すべては未来につながるための行動だったと思います。今後は単に以前を取り戻すのではなく、ポストコロナに向けてこれらの経験を新たな未来に向けて活用する必要性を感じています。学会の開催は、高知県会員は対面とし、遠方の方でも参加できるように、このコロナ禍でニューノーマルとなった Web 開催も併せたハイブリッド開催を予定しています。

そして本学会のテーマは、「理学療法の未来図」としました。未来を予測するためには、何が必要なのでしょう？今までの歩みを振り返ることも大事ですが、この変化の激しい VUCA の時代においては、過去の実績や現状や課題から未来を考えるのではなく、ありたい姿/あるべき姿を描いたうえで、そこから逆算し“いま何をすべきか”を考える思考「バックキャスティング: Backcasting」が必要だと感じています。

特別講演Ⅰでは、「未来への舵取り～2040年の理学療法～」として畿央大学の森岡 周先生に未来を考えるヒントをご講演いただきます。また、特別講演Ⅱでは、「身体と空間知覚」として高知工科大学の繁樹 博昭先生にはバーチャルリアリティの活用による脳のシステムと自己身体の変化に関する研究を通じてリハビリテーションの未来につながる話題提供をしていただきます。

特別講演や演題発表を通じて未来の理学療法をどのように変えていくか、今後の理学療法について一緒に未来感を感じられる学会にしたいと思っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【 開催要項 】

- 期 日 : 令和6年3月24日(日)
- 開催形式 : 対面開催と Web 開催のハイブリッド
- 会 場 : 土佐リハビリテーションカレッジ
(〒781-5103 高知県高知市大津乙 2500-2)
- 学会テーマ : 「理学療法の未来図」
- 特別講演Ⅰ : テーマ「未来への舵取り～2040年の理学療法～」
講 師 森岡 周 先生
(畿央大学大学院 健康科学研究科主任・教授)
- 特別講演Ⅱ : テーマ「身体と空間知覚」
講 師 繁樹 博昭 先生
(高知工科大学 情報学群 教授)
- 発表演題 : 一般演題(30題) (予定)

以 上